

令和 5 年

## 第 2 回教育委員会会議録

(開会 令和 5 年 2 月 17 日)

(閉会 令和 5 年 2 月 17 日)

岐阜県可児市教育委員会

令和5年2月17日午前9時00分開会

会場：市役所4階第3会議室

### 出席委員

堀部好彦君（教育長）

長井知子君（教育委員）

梶田知靖君（教育委員）

小栗照代君（教育委員）

伊藤小百合君（教育委員）

### 説明のために出席した者

渡辺勝彦君（事務局長）

佐野政紀君（学校教育課長）

上北泰久君（学校教育課主任指導主事）

真野純次君（学校教育課指導主事）

木村千恵君（学校教育課学校支援係）

飯田晋司君（教育総務課長）

佐藤一洋君（学校給食センター所長）

三宅愛彦君（教育研究所主任指導主事）

福田真弓君（学校教育課学校支援係長）

瀬瀬新吾君（子育て支援課専門対策監）

### 出席委員会事務局職員

木村彰伯君（教育総務課総務係長）

小池拓哉君（教育総務課総務係）

### 日程及び審議結果

1 開 会

2 前回、前々回会議録の承認

3 教育長報告

4 教育委員報告

5 議 事

①議案第3号 教育に関する予算の意見について（令和5年度可見市一般会計予算）（原案可決）

②議案第4号 教育に関する予算の意見について（令和4年度可見市一般会計補正予算（第10号））（原案可決）

③議案第5号 可見市学校運営協議会規則の一部を改正する規則の制定について（原案可決）

④議案第6号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について（原案可決）

6 報告事項

①いじめ相談受付状況について

7 各課所管事項

8 委員からの提案協議事項

9 その他

10 閉 会

### 開会の宣告

- 教育長（堀部好彦君） おはようございます。  
令和 5 年第 2 回の教育委員会会議を開催させていただきます。  
定足数につきましては、出席委員が過半数を満たしておりますので、この会議は成立するということですのでよろしくお願いいたします。

### 前回、前々回会議録の承認

- 教育長（堀部好彦君） 前回、前々回会議録の承認について。
- 教育総務課長（飯田晋司君） 前回、前々回ともに変更はありません。
- 教育長（堀部好彦君） 変更なしということで、よろしくお願いいたします。

### 教育長報告

- 教育長（堀部好彦君） では、初めに教育長からの報告でございます。  
2 点よろしくお願いいたします。  
1 月 27 日、世界劇場会議国際フォーラムが a 1 a で行われました。招待をいただき、私と事務局長が出向きました。劇場が社会包摂を理念として社会全体を包み込んでいくこと、誰も排除されずに全員が社会に参画する機会を持つ、そんなことを目指して取り組んでいる世界の劇場の方々が一堂に会して、実践を交流したり、理念の確認をしたりなんていうフォーラムに参加をさせていただきました。  
そこで、a 1 a の職員の方が学校との連携について触れながら、すばらしい実践を発表してくださいました。御承知のように、a 1 a との連携で子供たちが本当に伸び伸びと活動に参加している様子は御存じかと思うんですけども、その一端が a 1 a の広報「a 1 a t i m e s」に掲載されております。その内容をちょっと紹介させていただきますので、机上当りでございます a 1 a の「a 1 a t i m e s」を御覧ください。  
まずは、笹橋館長のエッセイのページです。  
「みんなのココロとカラダをつなぐ」と題してエッセイがつづられておりますが、小学校に出向いて行っているココロとカラダワークショップについて触れてくださっております。つながりの大切さと心地よさを感じてほしいという願いでコミュニケーション能力を高めるという取組をしてくださっておりますが、それにかける思いをまとめてくださっております。大変ありがたいなあというふうに思います。  
また、最後のページを御覧ください。  
これは、ココロとカラダワークショップの一場面が写真で紹介されるとともに、このワークショップを体験した子供たちのアンケート結果も載せられています。すばらしい成果だということは、これを読んでいただければ分かると思います。「自分のクラスがもっと好きになりましたか」ということについて、これだけの肯定的な回答がなされているなんていうのは本当にすばらしいなあというふうに思っています。  
このように、a 1 a との連携によって、子供たちの「笑顔の“もと”」を育む、未来の笑顔につながる「笑顔の“もと”」を育むということを進めているわけですけども、私としては、a 1 a に限らずいろんなところと連携をすることで、子供たちのためにな

る活動が生まれないかなと思っています。

今考えていることのうちの一つに、フレビアとの連携がございませう。これまでもフレビアの方々と全く関係がなかったわけではなくて、いろんなお話をさせていただいたんですけれども、今後さらにフレビアの方々、フレビアのやっておられることを私たちが十分理解をして、子供たちのためになる活動を生み出していけないと思っています。フレビアとの連携では、主に外国籍児童・生徒のためになるということになるわけですが、外国籍児童・生徒の学力向上、学力保障はもちろんのこと、不登校や希死念慮に対する対策も進めていけないかなあと思っています。フレビアの事務局長と話をする機会を今何回かやっていきたいなあと思っています。また提案をさせていただくことになると思っていますので、併せて御承知おきください。これが1点目です。

2点目は、2月7日、初任者研修についてでございます。初任者研修で、少し時間をいただいて話をさせていただきました。初任者ではなくて、1年先輩の2年目の教諭で外国籍の方がいらっしゃるといふ話を前にしました。その方が実践記録を書かれて、そして外国籍の子供たちのために本当に日々努力されている論文があったわけなんですけれども、それをぜひ初任者に紹介をしたいなあということを書いて話をさせてもらいました。実際の論文をそれぞれ配付させていただきながら私が伝えたのは、この2年目の教諭の志が本当にすばらしいと。自分が外国籍の外国人として生きていく中で、外国籍児童・生徒へのまなざしが本当に温かくて、自立してほしいという願いを持ちながら取り組んでいる、その志を皆さん感じてほしいと。私は、志を持ち続けることが幸せに仕事をしていく、幸せに生きていくことにつながるんじゃないかなあというようなお話も含めて伝えさせていただきました。

以上、御承知おきください。2点でした。

## 教育委員報告

- 教育長（堀部好彦君） それでは、次に教育委員報告に入ります。
- 教育委員（小栗照代君） おはようございます。

まず、1月21日・22日に可児市小中美術展・特別支援学級作品展が開催されましたので、こちらのほうを拝見してまいりました。子供たちが大変一生懸命描いた作品が並んでおり、一つ一つじっくり拝見させていただきました。その中で御家族が大変多く見に来ていらっしゃって、多分4年生ぐらいの女の子とパパと一緒に来ている方がいて、パパの手を一生懸命引っ張って、自分の絵がどこにあるんだろうと、見つけたら、パパ、パパおいでと書いて、ほほ笑ましく親子で見えていらっしゃる風景を見て、ああ、いいなあなんて思いました。なかなかお仕事の関係で参観日に行けなかったり、お子さんの作品を見る機会がないかもしれませんが、こういう機会に見ていただけるというのは本当にいいなあと思いますし、御家族でも、多分帰ってからまたその話で楽しく過ごされたのではないかなと思いました。

それから、東明小学校のほうも1点お話を伺ってきたんですけれども、来年度からプールが始まるということで、通常だと6月に子供たちが掃除をしてくれるんですけれども、今年は修繕が5月・6月に入るといふことで、4月に掃除をしてくださいといふことでした。子供に4月に、ちょっと冷たいので掃除をさせるわけにはいかないのとい

うことで、PTAの新役員さんに御協力をお願いしたら、快く引き受けてくださったということで、PTAの役員の方と先生方とでやることに決めましたというお話をしてくださいました。

それから、ろ過の機械も3年間使っていないで、使い方が分かる人がもう今はいないと。特に少人数の学校ですと、残っていらっしゃる方で機械を触った経験の方がいらっしゃるということなので、その辺りのところのフォローもしていただけるとありがたいなと思います。

それから、今後プールの授業になったときなんですけれども、3年間プールがないということですので、4年生の子がいきなり、4年生から深いプールに入るそうなんですけど、いきなりプール深いところから始めなきゃいけないので、ちょっとその辺りのところも考えなければいけないということ。1・2・3年生は全然入ったことがないですし、5・6年生の子も深いプールの経験がないということで、いつも以上にかなり安全に気をつけてプールの指導をしなければいけない。先生方も指導するのに慣れていないので、その辺りのところを早めに準備をしていきたいというようなお話をしてくださいました。

それから、先月ですけれども、教育長がコミュニティ・スクールの話で、各学校の特色をきちんと把握してつかんでくださいというようなお話をしてくださったんですけれども、校長先生のほうからもコミュニティ・スクールのお話があって、雑談ですけれども、どんなふうに進めていきたいと思いますかみたいなお話をして、もう声かけをしてくださったので、そういったところも取り組んでいただけるような方向に皆さんしてくださっているんだなということで、ありがたいなと思いました。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

今、3つお話をさせていただきましたが、作品展、私も行ってきました。作品展の前に文化協会の邦楽の発表会があって、その邦楽の発表会の最初の会議に出て、その足で市長と一緒に作品を見て回りました。小栗委員言われるように、本当に家族で来て、自分の作品を自慢げに紹介をしている人を私も見まして、いいなあと思いました。市内の関係の先生方の御努力で開催できているということです。本当にありがたいなあと思います。

あと、コミュニティ・スクールと水泳、プールのことにつきましては、その2点とも事務局それぞれ教育総務課はプール、コミュニティ・スクールは学校教育課が中心になって、学校の校長や先生方に働きかけておるんですけれども、小栗委員から聞いて、こちらから働きかけていることを学校はきちっと受け止めてやってくださっているなと感じました。

本当にそういった報告を受けるととてもうれしいです。ああ、学校はちゃんと分かっておるなあ。今、小栗委員、本当に水泳について言ってもらったことは、まさに私たちは、教育総務課がきちっと学校の実態を捉えながら、学校ごとのいろんなプールがありましたから、指導をさせてもらったこと、それを全部今言ってくださった。本当に学校はよく受け止めてくださっているなあ、ありがたいなあと思います。

○ **教育委員（長井知子君）** おはようございます。よろしくお祈りします。

教育委員の活動は特にはありませんでした。

最近コロナも落ち着き、ニュースで、卒業式でマスクを取るという話もありましたが、改めてコロナの数年間を振り返ってみて思い、子供たちに伝えたいと思うのは、物事は一つであっても考え次第でよくもなり、悪くもなります。このコロナで、例えば人と会えない、マスクをしないといけない、顔が分からないなど、いろんなマイナス面もあったと思います。そんな中でも自分は何ができるのか、それを通してどんな楽しいことができるのかというのを考えられる力を育むと、これから社会に出て、いろんな人とのトラブルだったりだとか、理不尽なことで怒られたりだとか、この先、経済格差で生きにくい時代になったとしても、自分で生きていける精神力や強い心を持つことができると思います。本人も子供たちも、その中でいろいろ考えたり、親さんのほうも子供たちにどうしたら楽しくできるかなとか、そういった子供とは違う面からの問いかけなんかをできるといいなというのを改めて思いました。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

今、長井委員の言われたことを、私は校長会で校長先生にお話をしました。校長先生、コロナ禍がマイナスの部分ばかりだったのかなという話をさせてもらったことがあります。学校はコロナにくじけないで、本当にいろんな制限がある中でこの3年間頑張ってきた。その中で、学校の特色を出しながら、子供たちの「笑顔の“もと”」を育む活動、教育を頑張ってきた、そのことに誇りを持ってほしいという話をさせていただきました。その誇りを持って令和5年度を迎えましょうよという話をこの年明けに話をして、全く考え方、見方、長井さんと同じだなあなんて思いながら聞かせてもらいました。ありがとうございました。

○ **教育委員（伊藤小百合君）** おはようございます。よろしくお願ひいたします。

2月13日に幼保小連携推進会議に出席しました。今年度のテーマは「「笑顔の“もと”」でつなぐ、高める、支える幼保小の連携」ということで、副題で「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を視点として」という形になっております。

コロナ禍で2年間、保育園とか幼稚園が小学校との交流ができなかったんですけども、今年度は授業参観と協議会を行った学校、または授業参観のみという形の学校で、いずれかの形で実施できたというお話がありました。2年ぶりで、アンケートを取ったんですけども、タブレットの使用などがあつたりとか、学校で大きく変わっていくとか、あとなかなか幼稚園の先生同士も交流ができなかったのも、そういう場所で幼稚園の先生同士がいろいろな情報を交換したりとか、共有できたという感じでアンケート結果を得られたそうです。

また、幼保小の架け橋プログラムという形で、協力学校になっている東明小学校がありますが、そちらの「笑顔の“もと”」である「進んで 仲間と 終わりまで」というものを、会合した先生方と共有できたと思われるということを校長先生がおっしゃられていまして、こういう忙しい中でも、こういった協議会を持つことはやっぱり必要だということを改めて感じたというお話がありました。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございました。伊藤委員のお話、とってもうれしかったです。

幼保小の連携も今後ますます力を入れていきたいことです。今、私ありがたいなあと思うのは、研究所の職員が幼保小の連携を要となってやってくださっています。そうい

う中で、「笑顔の“もと”」の理念が保育園・幼稚園の園長先生以下いろんな先生方に、幼・保の世界にも広まりつつあるということ課題に上げたいですし、幼・保の方々と小学校でどんな「笑顔の“もと”」を育てていくの考える、それが連携なんだというふうに捉えてやってくださっていることはありがたいなあと思っています。

また、これは紹介をさせていただくことになると思うんですけども、3月に教頭会の研修に私呼ばれていまして、話をさせてもらうことになっています。1時間。そこで保育園の先生に御登場いただいて、それと研究所の職員、幼保小の連携の要となっている職員にも登場いただいて、3人で座談会というか、しゃべっているのを聞いていただくという研修にしたいなあというふうに思っています。狙いは、幼保小、幼児教育をどんな考えでやっているのかという幼・保の世界の教育観に、中学校・小学校の教頭先生方に触れていただいて、教育観を広げてもらえないかなあなんていうふうに思っています。保育園の先生が、どんな活動をどんな狙いでやっているのかということを紹介していただく。それについて私がコメントを差し挟みながら、そして研究所の職員もそれに加わりながらということで、幼・保の世界に教頭先生方に触れていただくことを考えていますので、御承知おきください。

○ **教育委員（梶田知靖君）** おはようございます。

私も小栗委員と同じく1月21日・22日の小・中学校さんの美術展の日曜日のほうにお邪魔させていただきました。本当にどの作品もすばらしく本当に驚きました。小学校1年生の作品が展示してあって、どこかのおばあちゃんが、こんなすばらしい絵が描けるんだなあと話していたのを耳にしました。あと、中学校なんかで和菓子をモチーフにした作品がありました。本当に食べたくなるような、本当にすばらしい作品だなあと思いました。あの美術展に初めて行かせていただきましたので、驚くばかりで、本当に目の保養になりました。

あと、中学校さんのコーナーで一部「笑顔の“もと”」の、今回の「笑顔の“もと”」のロゴマークには選ばれなかったんですけど、私もこの会議で、書面では拝見させてもらったんですけど、実際に作品を見たときに、教育長がおっしゃられた、どの作品が選ばれても本当によかったんじゃないかというぐらい温かみを感じました。

それから、教育委員としての活動で、2月3日に今年度の第2回学校給食センター運営委員会のほうへ出席させていただきました。本当に給食センター所長さんや栄養士さんをはじめ、可児市の子供たちのために毎月献立やいろんなメニューを考えていらっしやることがわかりました。私も妻によく今日の夜何食べたいとかって聞かれますけど、本当に毎月毎月あれだけの献立を考えるのは本当に大変だなあと思いました。本当にありがとうございます。

栄養士さんのほうで、学校で残った給食の行方みたいなDVDを紹介されたんですけど、また学校の授業でもそういったものを流しているというのをお聞きしました。ああいった活動もいろいろ大変だなと思いました。

8校ほど学校へ伺う機会がありました。回らせていただいて思ったのは、給食運営委員会でもありましたけど、子どもたちは給食の時間って本当に静かに食べていらっしやるんですね。おいしかったら、多分おいしって言いたいんだと思うんですけど、本当に静かに食べていて、ちょっとかわいそうだなと思いました。早く楽しくわいわい食べ

られるといいなあと、こういうのも不登校問題に少しつながってくるのかなと思います。あとはお昼休みや小学校の青空の時間とか、外に遊びに行く姿も見ていたんですけど、みんなマスクしているんですね、やっぱり。だから、なかなかマスクが、取っていいよとなっても外せない、そんな世の中になってしまったので、明るい方向に行くといいなあと思いました。

私の報告は以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

先ほど初任者研修で、志を持ち続けて生きることが幸せに生きていくことなんだなんて偉そうな話をしましたよという話をしましたが、給食センターの運営委員会で改めて私も感じたのは、給食センターの職員の方々の志です。本当に子供たちに栄養満点の給食を提供するというこのみならず、食育にかける思いということを改めて感じました。すばらしいなあとというふうに思っています。

それとマスクの話ですが、梶田委員言われるように、私が今一番心配をしているのは外したいんだけども外せない子です。思い切って外せるよという子はもちろん心配ないし、それから自分の体調が心配だからというような理由があってマスクをしている子はそこまで心配していません。問題は、外したいけど、様子見でみんな周りを見ながらとか、今さら外せないと思う子です。これはどうしたらいいだろうかということで、知恵を絞らないといけないと思っています。

また、皆さんにもその辺り御意見いただけるとありがたいなあとと思います。今後よろしく願いいたします。ありがとうございました。

## 議事

○ **教育長（堀部好彦君）** それでは、次に議事に入ります。

○ **事務局長（渡辺勝彦君）** それでは、議案書を御覧ください。

表紙の裏ページの目次のとおり、本日は議案が4件です。

議案第3号 教育に関する予算の意見について（令和5年度可児市一般会計予算）、議案第4号 教育に関する予算の意見について（令和4年度可児市一般会計補正予算（第10号））、議案第5号 可児市学校運営協議会規則の一部を改正する規則の制定について、議案第6号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について、以上4件についてよろしく願います。

○ **教育長（堀部好彦君）** 議案第3号 教育に関する予算の意見について（令和5年度可児市一般会計予算）、議案第4号 教育に関する予算の意見について（令和4年度可児市一般会計補正予算（第10号））、議案第6号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について、報告事項のいじめ相談受付状況について、その他の児童生徒校内事故、問題行動、交通事故等の記録については、意思決定に関する案件や、個人情報やプライバシーに関する情報のため、教育委員会会議規則第14条の規定により非公開とすることにしたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議がないようですので、この件については非公開といたします。

議案第5号 可児市学校運営協議会規則の一部を改正する規則の制定についてを議題



とします。

- **学校教育課長（佐野政紀君）** それでは、3ページを御覧ください。

議案第5号 可児市学校運営協議会規則の一部を改正する規則の制定について。

可児市学校運営協議会規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。令和5年2月17日提出、可児市教育長 堀部好彦。

記1. 改正理由、可児市学校運営協議会規則第3条ただし書に基づき、小学校と中学校が連携し、1の協議会を置く場合に、各学校からより広く意見を集める必要があるため、委員の増員を行うもの。

2. 改正内容、第4条、第3条ただし書に規定する2以上の学校について1の協議会を置く場合は、委員を20人以内とする。

3. 施行日、令和5年3月1日。

4. 改正文、以下のとおり。

4ページを御覧ください。

詳細につきましては、主任指導主事より説明をします。

- **学校教育課主任指導主事（上北泰久君）** お願いします。4ページです。

可児市学校運営協議会規則の一部を改正する規則。

可児市学校運営協議会規則（令和4年可児市教育委員会規則第3号）の一部を次のように改正する。

改正前、（協議会の組織）第4条、協議会の委員は10人以内とし、次に掲げる者のうちから教育委員会が任命する。

改正後、（協議会の組織）第4条、協議会の委員は10人（前条ただし書の規定により2以上の学校について1の協議会を置く場合にあっては20人）以内とし、次に掲げる者のうちから教育委員会が任命する。

附則、この規則は令和5年3月1日から施行する。お願いします。

- **教育長（堀部好彦君）** ただいまの説明について、御質問、御意見等ありますでしょうか。

今後、そういった複数の学校で1つの協議会を設置するということが予想されると。そういうことも想定してということでやらせていただくということなのですが、よろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

では、異議がないようですので、原案のとおりとさせていただきます。

#### 各課所管事項

- **教育長（堀部好彦君）** 次に、各課所管事項に入ります。

- **事務局長（渡辺勝彦君）** 私からは議会の関係です。

市議会の第1回定例会が、今月の終わり2月28日に開催して3月24日に閉会する予定です。

この中で、本日提案させていただいております議案第2号、議案第3号、第4号につきましては、予算案として上程をいたします。ほかにも一般質問等がふだんの議会と同様にあるという予定ですので、またその中身については後日報告いたしますので、よろ

しく申し上げます。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

○ **教育総務課長（飯田晋司君）** 私からは報告1件ございます。

まだまだ寒い日続いておりますけれども、1月27日金曜日に学校の水道管凍結による対応事案が発生しております。この日、朝方にかけて非常に冷え込んだ日で、最低気温がマイナス5度ぐらいだったかと記憶しております。当日朝、兼山小学校から連絡がありまして、屋外の水道管の凍結防止バルブ付近の管が破損して漏水を起こしたということで、教育総務課の担当者と水道業者が現場に急行して応急対応をして、学校運営に特に支障なく、その後修理を実施して、今は全く問題ない状況になっております。

この日なんですけれども、夕方になりまして東可児中学校からも連絡があり、凍結によるバルブの漏水があったということで、兼山小学校ほど大ごとではなかったんですけれども、やはり職員と業者が急行して応急対応をしております。こちらは、朝方にかけて凍ったところが、昼を過ぎ、夕方になって解けて漏水が出現したということでした。金曜日の夕方ということもあって、特に学校運営には支障がなかったということで、問題なく今も使っていただいています。

兼山小学校の件は、学校が始まる前の朝の時間帯で、通報を受けた時点では子供たちに支障が出ないか大変心配されたんですけれども、小規模なものを含めると、学校の水道の不具合というのは時々発生をしておりますして、担当係、施設管理係と業者が連携して随時対応しているという状況がございますので、御承知おきいただければと思います。以上でございます。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

水道の不具合については、事が大きければ学校を休みにしなくちゃいけないような状況に追い込まれる可能性もあるわけですが、教育総務課職員、本当に迅速に今回も対応していただいて大事に至らなかったと。本当にありがとうございます。

○ **学校教育課長（佐野政紀君）** 1月19日以降、学校に関わる動きをお伝えします。

小・中学校合計308名、教職員18名の新型コロナウイルス感染症の陽性報告を受けております。学級閉鎖は1校1学級です。一方、インフルエンザに関しての学級閉鎖は2校3学級です。現在、閉鎖している学級はなしです。

前回の教育委員会会議でも、学校には、心配される児童や生徒に対して家庭への電話連絡などを行い、対応しているお話をさせていただきました。特に希死念慮で報告があった児童・生徒には、担当指導主事が教育事務所に報告して対応について情報共有するとともに、学校の生徒指導主事と連絡を重ね、様子を確認し続けています。詳細はあとで担当の指導主事からお話しさせていただきます。

卒業式のマスクについてです。国からの卒業式におけるマスクの取扱いに関する基本的な考え方の通知は、2月10日に出ております。現在県からの通知は来ておりませんが、県からの通知が届き次第、家族等へ通知することになります。昨日の報道によると、県は16日、学校現場の新型コロナウイルス対策を話し合う教育推進協議会を開き、卒業式のマスク着用について、式典中に卒業生がマスクを外すことを可能とする国の方針に従うことを決めました。一方、マスク着用を望む児童・生徒や教職員も多いとして、細かな場面について検討を続けるというアナウンスがありました。市内の5校の中学校の校

長会では、県からの通知を想定して、中学校長会で情報を共有しております。学校の規模によって対応も異なることもありますが、入退場時や卒業証書を授与する際、着席時のマスクの着脱について検討をしているところです。また、体育館や各教室への保護者の入場も、規模等を踏まえ、何ができるのかという視点で検討をしているところです。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

○ **教育研究所主任指導主事（三宅愛彦君）** お願いします。

別冊の教育研究所よりの冊子を御覧ください。1枚はねていただき、2ページを御覧ください。

2番、研究・研修に関わって、(1)研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励についてです。

法律改正により、教員の免許更新制度は廃止されましたが、私たち教員は、働き方改革は意識しながらも、自己研さんを積んで資質向上を目指す必要があります。今までは、その時期になったらやらなければならないという研修でしたが、今後は、その先生が今までに受けた研修の履歴を活用しながら管理職と対話をし、教師自らが研修のニーズや自分の強みや弱み、今後伸ばすべき力や学校で果たすべき役割などを踏まえて、自分に必要な学びを主体的に行っていくという新たな教師の学びの姿を推進していくということになります。

具体の一つとしては、学校には研修主事という役職や校内研修推進委員会という組織を設置していただきながら、日常でのOJTを含めた校内研修の充実を努めていただくこととなります。市教委としては、現場の先生方の負担とならないように、今も行っている県の方法を利用して研修履歴が残せるようなシステムを構築したり、研修を増やしてしまうのではなくて、内容を充実させるなどして学校を支援してまいりたいと思っております。

次、3ページを御覧ください。

「笑顔の“もと”」重点事業の進捗状況について、大きく1点お伝えいたします。

来年度、可児市スクールカウンセラー・スーパーバイザーの川原先生の御指導をいただきながら、現在作成しております「笑顔の“もと”」プログラムを全小・中学校で実施します。今の子供たちは、学習不安とか友達関係などの理由で学校に足が向かなくなる子も一定数はいますが、それに加えて集団が苦手な子、また自分が友達から見られていると何かならまれているんじゃないかと勘違いをしてしまうなど、その子が持っている特性とか、認知のゆがみによって学校生活につらさを感じているケースもあります。

また、学校には特別支援学級や通級指導教室などで個別の支援を受けている子もいれば、通常教室にはいわゆるグレーゾーンと言われるお子さんもおります。現場の先生方と1つ会議をいたしました。お話を聞くと、このグレーゾーンと言われる子供たちは、友達とのトラブルを起こしやすかったり、トラブルになった後、ちょっと立ち直りに時間がかかったり、不登校傾向を示しやすかったりすることもあるようです。

7ページ以降を御覧ください。

これが、まだ完成はしておりませんが、「笑顔の“もと”」プログラムの一部となっております。

9ページを見ていただくと、この概要が書かれておりますが、プログラムは大きく3つから成り立っております。週二、三回程度、朝の会などを使って5分程度で行うAプログラム、週に1回程度、15分間程度で行うBプログラム、月に1回程度、1時間の授業で行うCプログラムの3つから成り立っております。

はねていただくと、Aプログラムが19ページまで載っています。これは、コグトレと言われる心理教育プログラムを利用しています。認知機能を高めるということです。認知機能には、記憶や言語理解、知覚、推論、判断と色々な要素があるんですけども、これを強化していくことが正しい認知につながって、それがよりよい人間関係づくりの基になるというようなものとなっております。

20ページから24ページにはBプログラムがあります。見ていただくとお分かりのとおり、絵を子供たちが見ながらいろんな場面を想定し、この場面で相手はどんな思いでいるのか、だからこんな声かけをするといいんじゃないかというようなことを考えていくようなシチュエーションプリントと言われるものを使って行うプログラムとなっております。

最後、Cプログラムが25ページ、26ページにあります。これは1時間で行うので、指導案をつけてあります。ここには、怒りのバロメーターというものの指導案があります。アンガーマネジメント、怒りをどうコントロールしていくかというのですが、このようなプログラムとなっております。

これらの実施についてですが、紙に印刷して行うのか、また1人1台タブレットがありますので、タブレットに入れて行っていくのかを学校ごとで考えていただいて、それに対応していく予定でおります。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

「笑顔の“もと”」プログラムにつきまして補足をさせていただきます。

今、概要を説明していただきました。よくぞここまで、この1年でやっていただいたなあというふうに感謝しておりますが、教育委員の皆様をお願いをしたいことなんですけれども、このプログラムの概要が9ページからずうっと書いてございます。概要及び実際に使うプリントはね。これについてぎーっと見ていただいて、大体こういうことをやるんだなということは理解いただけるとありがたいです。それよりも一番理解をしていただきたいのは8ページです。

この8ページに書いてある、なぜこのプログラムを行うのかという理由について、よく理解をしていただきたいなあというふうに思います。このページはきちっと特に読んでいただけるとありがたいです。

その上でのお願いをもう一つなんですけれども、今後学校訪問等で、このプログラムを来年度から少しずつ実施ということなんですけれども、すぐには円滑にスムーズにいけるということではないかもしれないですが、学校の先生方がこのプログラムをどのように使っておられるのか、その効果や課題についてどんなふうにご考えておられるのかということ、教育委員の皆さんからもそんな情報をいただけるとありがたいなあと思っておりますので、よろしくお願いをします。

○ **学校給食センター所長（佐藤一洋君）** 給食センターからは3点です。

一つ目に梶田委員からお話ありましたが、2月3日に学校給食センター運営委員会

がございました。令和5年度の給食センターの活動方針等を諮りまして、承認をいただきましたので、4月以降の教育委員会会議で、こちらのほうを諮らせていただきたいと思いますので、よろしく申し上げます。

二つ目は1月26日に「笑顔の“もと”」献立、以前も紹介させてもらいましたが、こちらのほうを実施しました。「笑顔の“もと”」メンチカツを提供しまして、メンチカツに「笑顔の“もと”」のロゴマークをつけたものを提供しました。子供たちからも大変好評でした。市の広報の担当のほうで蘇南中学校を取材して、また広報紙等で紹介されますので、ご覧下さい。

それから2月14日、中部中まなび献立かつ市制40周年献立ということで、2月の献立のほうを見ていただくと14日のほうにありますけれど、こちらのほうは中部中学校の生徒さんが毎年やっているんですけど、自分たちで献立を考えていくと。その中で選ばれた一つを、今回40周年献立とコラボという形で提供させてもらったということになります。今回、残食を少なくしようとか、御飯をしっかり食べようとか、そういったことでテーマを持ってやっていたということです。ちなみに、ただ御飯だけじゃなくて、菜飯とシラスの混ぜ御飯みたいにするということによって食べやすくするとか、豚汁によって野菜をたくさん食べられるようにするとか、豆乳プリンで乳アレルギーの子でも食べられるデザートにしようとか、非常によく考えられた献立になっているなどと思います。食べてみて大変おいしかったですし、考えられていてすごいなというものだったと思います。こちらのほうも非常に子供たちから好評でした。

私からは以上になります。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

今、各課からの報告などがありましたが、御質問、御意見はありますでしょうか。どうですか。

○ **教育委員（長井知子君）** 給食センターへの質問です。今物価がすごく上がって、サラダ油も倍ぐらいになったなあと思って見えています。その中でいろいろ考えて作ってくださっていると思うんですが、今ある給食費の中でどんな感じですか。

○ **学校給食センター所長（佐藤一洋君）** 今年度についていうと、給食費プラス市費によって1,300万円、価格上昇分ということで予算をつけていただいていますので、その中で何とかやりくりをしているという形です。

来年度はそういった価格上昇分のための市費というのはありませんが、今の給食費を令和3年度に改定をしています。11年ぶりぐらいの改定でした。そのときに今後の価格予想もある程度見通しました。また、給食費については県内の中でもかなり高いほうですし、全国的にも決して安くない給食費を今いただいています。そのため、来年度、まずはその給食費の中でやりくりをするということを考えています。その上で、どうしてもやっぱり価格の上昇に追いつけないということになったら、そのときに改めて市としてどうするかというのを考えていくということになるかと思います。以上です。

○ **教育委員（長井知子君）** 分かりました。ありがとうございます。

○ **教育長（堀部好彦君）** ほか、よろしいでしょうか。

〔挙手する者なし〕

### 委員からの提案協議事項

- **教育長（堀部好彦君）** それでは、ないようですので、次に教育委員からの提案協議事項についてを議題といたします。

何かありますでしょうか。

よろしかったですか。

〔「なし」の声あり〕

### その他

- **教育長（堀部好彦君）** では、次にその他の次回の日程等について。
- **教育総務課長（飯田晋司君）** 3月ですけれども、臨時会を3月3日金曜日午後1

時30分から、場所は教育長室でお願いいたします。

次に、3月の定例会ですけれども、3月27日月曜日午前9時からということで、場所は市役所の5階第1委員会室でお願いいたします。あと、3月27日は教育委員会会議終了後、教育政策会議を続けて開催いたしますので、よろしくをお願いいたします。内容は、学校規模適正化に関してを予定しております。

また、4月の定例会ですけれども、4月14日金曜日はいかがでしょうか。

〔「大丈夫です」の声あり〕

ありがとうございます。では、4月14日の9時からということでお願いいたします。

以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** 3月は、臨時会を3日金曜日の午後1時半から、定例会は27日午前9時から、4月は14日午前9時からということでお願いしたいと思います。

1時間程度たったんですけれども、休憩したほうがよかったですよね。次がちょっと長くなりそうなものですから、節目が今のほうがいいかなということで、それでは、あの時計で10時5分くらいまで休憩ということでよろしくお願ひします。

休憩 午前9時56分

再開 午前10時05分

- **教育長（堀部好彦君）** それでは、休憩前に引き続きまして会議を再開いたします。

（以下非公開）

（以上非公開）

### 閉会の宣告

- **教育長（堀部好彦君）** それでは、これにて教育委員会会議を終了させていただきます。ありがとうございました。

閉会 午前11時20分